

## 技術ノート KGTN 2010121302

### 現象

[GGH4.0] クライアント印刷機能で大きな印刷ジョブを流した場合、GGW3.2 と同じような感じなのか？

### 説明

GGW3.2 では「サーバ側でのスプールファイルの生成 → スプールファイルの転送 → クライアント側でのスプールファイルの生成」という順序でクライアント印刷が行われておりましたが、GGH4.0 では「サーバ側でのスプールファイルの生成」と「クライアント側でのスプールファイルの生成」が並行して行われます。また、アプリケーションの印刷ダイアログ（の印刷中のダイアログ）はすぐに印刷終了の状態になり、バックグラウンドで上記のスプールファイルの処理が進行します。

印刷の方式の違いから、GGW3.2 では“RS: Exception occurred in PRINT\_EndDoc.”が発生する4,684ページの印刷（スプールファイルは2.24GB）も、GGH4.0 では印刷することが出来ました。

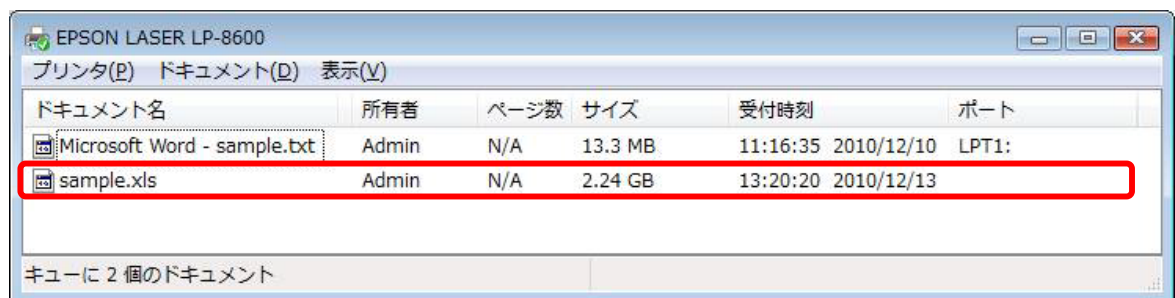
サーバ側のプリンタ（4,684 ページを印刷）



ドキュメント名	状態	所有者	ページ数	サイズ	受付時刻	ポート
sample.xls	印刷中	Administrat...	4,668/4,684	79.7 MB/80.0 MB	13:20:10 2010/12/13	CPP1

キューに 1 個のドキュメント

クライアント側のプリンタ（スプールファイルのサイズ 2.24GB）



ドキュメント名	所有者	ページ数	サイズ	受付時刻	ポート
Microsoft Word - sample.txt	Admin	N/A	13.3 MB	11:16:35 2010/12/10	LPT1:
sample.xls	Admin	N/A	2.24 GB	13:20:20 2010/12/13	

キューに 2 個のドキュメント